

中日交流

标准日本语



1

中级



人民教育出版社

中日交流 标准日本语

1

中 级

(中国) 人民教育出版社

(日本) 光村图书出版株式会社

合作编写

人民教育出版社

中日交流标准日本语

中级 I

[中] 人民教育出版社
[日] 光村图书出版株式会社

合编

人民教育出版社出版

(北京沙滩后街55号)

新华书店总店科技发行所发行 北京印刷一厂印装

开本850×1168 1/32 印张 13 字数 315.000

1990年1月第1版 1990年1月第1次印刷

印数 1 — 20000

平装本 ISBN 7—107—10569—8 / G 1764 定价 5.20元
精装本 ISBN 7—107—10570—1 / G.1765 定价 7.55元

序 言

《中日交流标准日本语》是供中国自学日语的读者使用的一套读本，是人民教育出版社与日本光村图书出版株式会社根据1985年12月13日达成的协议通力合作，精心编撰的成果。全套读本由初级I、II和中级I、II共四册组成。

为保证读本的理想质量，光村图书出版株式会社聘请日本语学、汉学及日语教育几方面的专家组成编委会，承担了主要的撰写和编辑任务；人民教育出版社负责审定、翻译及出版。作为两社友好合作的开端，双方均为本书的问世作了巨大的努力，有关学习内容、体系、文字描述及程度适当等问题，都经过中日双方几十次编辑会议反复研讨。

采用《中日交流标准日本语》的书名，一方面体现了双方出版社卓有成效的合作，另一方面也深切地希望通过本书读者的日语学习和运用，有助于中日两国人民的深入交流。

本书的编写，力求质量上乘、内容完备，并从中国人学习日语的角度出发，让读者有系统而又不困难地学到标准、纯正和自然优美的现代日本语。因此，既重视日常会话等内容的实用性，有计划地选择句型、语法和词汇，配以详明的解说和练习，同时也注意保持高度的科学性。此外，书中还适当编入了与日本的语言、文化有关的知识性材料，以期扩大视野、增加学习兴趣。本册的内容与结构另有具体说明，请读者参阅。

另外，这套读本的一大特点是各册达到的程度目标，均与财团法人日本国际教育协会以及国际交流基金主办的日本语能力考试的等级相对应（初级I册为能力考试的4级，初级II册为3级，中级I、II册为2级）。根据每册书后的模拟试题，读者对自己达到的日语能力水平，可有一定的检验标准。

最后，谨向担任本书编撰工作的编辑委员、编辑助理委员付出的辛劳，表示衷心的感谢。国际交流基金对本书的编写给予了大力协助，在此一并致谢。

人民教育出版社
社长 叶立群

光村图书出版株式会社
董事社长 星野 巖

参加本书编辑、出版的人员如下：

<中国>

张 玺 恩	人民教育出版社副社长、副总编辑、编审委员
安 名 勋	人民教育出版社副社长、编审委员
张 秉 衡	人民教育出版社 编审
邱 海 良	人民教育出版社出版部主任
张 国 强	人民教育出版社日语组长、编辑
唐 磊	人民教育出版社 编辑
何 平 华	人民教育出版社 编辑
史 光 和	人民教育出版社 编辑

<日本>

编辑委员 (按日语五十音顺序排列)

大河内 康 宪	大阪外国语大学 教授
舆水 优	东京外国语大学 教授
佐治 圭三	大阪大学 教授
西尾 珪子	社团法人国际日本語普及协会 专务理事
野元 菊雄	国立国语研究所 所长
宫地 裕	帝冢山学院 院长

编辑助理委员 (按日语五十音顺序排列)

安達 幸子	社团法人国际日本語普及协会
天野 みどり	筑波大学
砂川 有里子	筑波大学 讲师
水野 マリ子	财团法人海外技术者研修协会
水野 義道	国立国语研究所 日语教育中心
山本 紀美子	社团法人国际日本語普及协会

光村图书出版株式会社参加人员

西池	和巳	董事编辑部长
紀伊	萬年	编辑部副部长
金子	哲	中级日语编辑组组长
吉田	直樹	稲垣 耕二
林	清	細見 雅彦

松尾 謙一郎

插图

渡辺 則子

照片提供单位（按日语五十音顺排列）

朝日新聞社

N.N.P.

共同通信社

世界文化フォト

本册内容与结构

一、本册内容

本册是与已出版的《中日交流标准日本语（初级 I、II）》相接续的中级卷，以学过初级程度的日语、具有基础日语知识的读者为对象编写而成。本册编入的句型、语法共约160项，词汇量为1290。学习本书是以更好地学到自然、常用的日语为目的。

二、本册结构

本册由20课组成，全部学习时间为150小时。每课的学习时间以6~7小时为准。每课的结构则是：课文—词汇 I—语法解说和练习—词语用法说明—词汇 II—自测练习。此外，书中各有5处分别编入了归纳整理日语词汇的“词语之窗”以及以中日语言对比为题的专栏。

1. 正课

① 课文

课文包含了适于中级读者的学习课题，同时力求挑选学习日语的人感兴趣的话题。此外，各课或以叙述文为中心，或以会话为中心而有编排上的变化，而且考虑到读者的负担，各课重点力求均等。

② 词汇 I、II

词汇 I 是课文出现的生词，词汇 II 则是解说中的例句及练习出现的生词。词汇表采取独立词与附属词、接词区分排列的办法，独立词用以下形式列出：

生词——读法、音调——词类——汉语释义

附属词、接词原则上不加汉语释义，在正课的解说中加以说明。音调则用①②……的数字形式表示。各个数字标示出下列音调，详细说明参照初级 I、II 册的“日语基础知识”。

わたし——わ¹たし——①

飲む——の¹む——①

卵——た²ま²ご——②

涼しい——すずしい——③

11类词中的独立词，用以下略语表示。动词分别表示为第1类、第2类、第3类（各类的说明参照初级Ⅰ第15课）。此外，专有名词、寒暄语、词组也与其他独立词区别开来。

名词—〔名〕	代名词—〔代〕	专有名词—〔专〕
副词—〔副〕	连体词—〔连体〕	接续词—〔接续〕
感叹词—〔感〕	动词—〔动〕	形容词—〔形〕
形容动词—〔形动〕	寒暄语—〔寒暄〕	词组—〔词组〕
惯用语—〔惯用〕		

③语法解说和练习

每课课文包含的重点，以丰富的用例为中心进行便于理解的说明。解说力求简洁的同时，还要追溯涉及初级阶段学过的类似用法，以达到便于读者整理归纳的目的。此外，对新出现的各个语法项目均安排有反复的练习，以求牢固掌握。

④词语用法说明

课文出现的词汇，在用法上需要特别注意的则给予说明。并且与各课课文内容相关联的词也加以归纳，目的是扩充词汇量。

⑤自测练习

这是为了确保学到每课的重点，同时也便读者自己能确认对内容的理解和词汇的掌握程度而编排的。书后的附录中给出答案。

2. 附加材料

全册有5处设立了“词语之窗”。这是以所学的事项为中心，把日语的词汇当作一个体系加以归纳整理而成。此外，从各课所学课题及词汇当中及时择取话题编成专栏，把汉语和日语的差异写成有趣味的可读资料，目的在于加深知识。

3. 书后的附录

考虑到读者的需要，书后的附录列出“总结测验”“课文译文”“自测练习、总结测验答案”“语法项目一览表”、“生词一览表”和“补充词汇表1”。“总结测验”是为便读者能检查自己达到的程度，编排了与本书内容密切相关的“总结测验”。除本册出现的词汇以外，还提供了有益于日语学习的“补充词汇

本册内容与结构

表”。学习了本册及《中日交流标准日本语（中级Ⅱ）》出现的生词以及“补充词汇表”，即可掌握“日语能力考试”第2级合格标准要求的6000词汇。

三、与日语能力考试相对应

本册以及《中日交流标准日本语（中级Ⅱ）》系参照财团法人日本国际教育协会和国际交流基金为外国人举办的“日语能力考试”第2级的标准编辑而成。《中级Ⅱ》最后一课的模拟试题就是在预测日语能力考试的命题范围、水平、份量的基础上提出的。

第2级的评定标准如下：

- 较高级别的语法知识
- 1000个左右日语汉字
- 6000个左右单词
- 具有对一般事物进行会话和读、写的 ability
- 学够600小时

四、本册书使用的符号

各课课题及解说中使用的符号如下：

- … 表示有活用的词
- ～ 表示名词或句子
- () 表示在某些句中需要加入的成分
- 甲/乙 表示有时为甲，有时为乙

五、录音磁带

为了通过实际声音学习日语，本书配备了盒式录音带。磁带中录有课文朗读，与本书并用必然取得更佳学习效果。

目 录

序言	1
本册内容与结构	4
正課	
第1課 こんにちは	10
第2課 王さんの日記	26
第3課 五目ずしの作り方	40
第4課 言葉使い—レストランで	58
第5課 梅雨と日本の家屋	75
第6課 七夕	90
第7課 地震の起こる日	104
第8課 数字をめぐる	121
第9課 夏休みの計画	139
第10課 上野駅で	152
第11課 旅と交通	169
第12課 京都からの手紙	183
第13課 50億人目の赤ちゃん	202
第14課 鳥になりたい	217
第15課 小さい物への愛着	233
第16課 コンピュータの発達	249
第17課 天気予報	266
第18課 高齢化社会	282
第19課 新聞の投書から	295
第20課 日本語と漢字	309

<词语之窗>

复合词	73
-----------	----

目录

拟声词和拟态词	136
惯用语	199
近义词	263
词缀	325
<专栏>	
尽管汉字一样	57
数字的好恶	120
方言种种	168
姿势、动作亦国风	248
吸收外来词	324
附录	
总结测验	329
课文译文	336
自测练习、总结测验答案	358
语法项目一览表	367
生词一览表	373
补充词汇表 I	395

中日交流
标准日本语

第1課 こんにちは

(1)

こんにちは、私は王と言います。去年の6月に、留学生として日本にやって来ました。

初めのうちは、言葉や習慣の違いから失敗ばかりしていましたが、最近はこちらの生活にもだいぶ慣れてきました。大学へ通っているうちに、何でも気軽に話し合える友達もできました。

鈴木先生は私が通っている大学の先生です。御専門は言語学で、私たち留学生に日本語を教えていらっしゃいます。私が日本語についてわからないことを聞きに行くと、いつも丁寧に教えてくださいます。勉強以外のこともいろいろと相談に乗ってくださいます。

先生は、現代の中国に興味がおありになるようで、ときどき中国のことをお尋ねになります。そんな時、私は喜んで中国のことを説明して差し上げます。

私は、これから、自分が知りたいことや興味があることについて、いろいろな本を読んでどんどん勉強していこうと思っています。日本の自然や社会・歴史・文化、それに科学技術など、知りたいと思うことがいっぱいあります。小説や詩のような文学作品も日本語で読んでみ

たいと思っています。

旅行の計画もあります。今度の夏休みに、日本の各地を訪れようと思っています。夏休みが終わるまでに、できるだけいろいろな所に行って、見聞を広めるつもりです。

(2)

王：先生。このごろ私は、日本の文化や歴史の勉強がとてもおもしろくなってきました。

鈴木：そうですか。それなら、ちょうどいい本がありますよ。これは、日本の文化をわかりやすく解説したものです。これを貸してあげましょう。

王：ありがとうございます。では、読ませていただきます。いつごろまでお借りしてよろしいでしょうか。

鈴木：来月までいいですよ。ぜひ読んで感想を聞かせてください。

王：では、遠慮なくお借りします。ちょうど、これから、本をどんどん読んで勉強しようと思っていたところなんです。

鈴木：いいですね。やる気を持つのがいちばん大切です。がんばってください。

第1課

词汇 I

初め (はじめ) ①	〔名〕	起初, 当初
違い (ちがい) ①	〔名〕	不同
失敗 (しっぱい) ①	〔名〕	出差错, 失败
気軽だ (きがるだ) ①	〔形动〕	无拘束, 爽快
言語学 (げんごがく) ③	〔名〕	语言学
勉強以外 (べんきょういがい) ⑤	〔名〕	除了学习以外
相談に乗る (そうだんにのる) ①+①	〔惯用〕	帮人斟酌
現代 (げんだい) ①	〔名〕	现代
尋ねる (たずねる) ③	〔动2〕	询问
そんな①	〔连体〕	那种, 那样
時 (とき) ②	〔名〕	时, 时候
どんどん①	〔副〕	接连不断
それに①	〔接〕	还有
いっぱい①	〔副〕	满, 很多
詩 (し) ①	〔名〕	诗
作品 (さくひん) ①	〔名〕	作品
計画 (けいかく) ①	〔名〕	计划
各地 (かくち) ①	〔名〕	各地
訪れる (おとずれる) ④	〔动2〕	访问
できるだけ①	〔词组〕	尽量, 尽可能
見聞 (けんぶん) ①	〔名〕	见闻
広める (ひろめる) ③	〔动2〕	扩大
見聞を広める (けんぶんをひろめる) ①+③	〔惯用〕	长见识, 扩大眼界
このごろ①	〔名〕	最近
それなら③	〔词组〕	那么
解説する (かいせつする) ①	〔动3〕	解说

遠慮 (えんりょ) ① [名] 客气

やる気 (やるき) ① [名] 干劲

～として…

…うちに／うちは、…

～ばかり

～学 (がく)

～以外

～のような

…までに／まで、…

… (さ) せてもらう／ (さ) せていただく

… (さ) せてください

语法解说和练习

1. ～として…

留学生として日本にやってきました。

“名词＋として”是对作为句中的主题或宾语的人或事物的某一方面着重叙述时使用的。省略了“名词＋として”，句子也可成立。

・私は留学生として日本にやってきました。

（私は日本にやってきました。私＝留学生）

・私は王さん^{*}を先輩として尊敬しています。

（私は王さんを尊敬しています。王さん＝私の先輩）

・あの人は新聞記者として有名です。

（あの人は有名です。あの人＝新聞記者）

此外，还可用“名词＋としての”修饰名词，用“名词＋としては”表示主题或对比。采取这类用法的时候，限定的意义较强，用时必须注意。

・留学生としての王さん^{*}は優秀です。（王さん＝留学生）

这个例句有可能表示作为留学生的小王在其他方面并非一定也是优秀的意思。

・私は王さん^{*}を先輩としては尊敬しています。（王さん＝私の先輩）

这个例句表示小王作为前辈是受到尊敬的，但在其他方面并不尊敬小王。

但是以下例句则又有不同。

・私^{*}としては山田さんの意見に賛成です。

・山田さんとしての意見を聞かせてください（山田さん＝意見）

这里是分别对“私は山田さんの意見に賛成です”“山田さんの意見を聞かせてください”中的“私は”和“山田さんの”给予强调，表示并非别人而是这两个人的意见。